

～読んでみない？こんな本～

がちょうのペチューニア

ロジャー・デュボワザン作 まつおかきょうこ訳 富山房



ある日、ペチューニアは本を拾います。でもペチューニアは本を知らなかったのです。「これはいったいなんでしょう？」そっと近づいてにおいをかいでみます。・・・どうやら食べ物ではないようです。でもどこかで見たような…。

「そうだ、ビルが学校に行く時に持っていったものだわ。本、そうよ本だわ。そういえばパンプキンさんが言ってたっけ。“本を持ち、これに親しむ者は賢くなる”って。じゃ、つまりあたしがこの本を持って行って大事にしたら、あたしだって賢くなるって訳ね。」

この日からペチューニアは本を持って過ごします。いつでも必ず本を持っているペチューニアが賢そうに見えるのか、農場の仲間もペチューニアに相談したり、意見を持ちかけます。ペチューニアも得意になって、みんなの相談に自慢げに答えているうちに、だんだん首が伸びてきて…。

ペチューニアの一生懸命だけど、どこか抜けているところが、なんともおかしくて、お話し会では、読み手のほうが笑いをこらえるのが大変な絵本です。小学生ぐらいの子達が、楽しめるお話だと思います。